

梓川中学校だより

発行者
梓川中学校
Tel 78-2024

令和7年から8年へ

3学期が始まり1ヶ月ほど経ちました。昨年末に行われた2学期終業式では、各学年の代表生徒が「2学期は学習に力を入れ、これまでとやり方を変えて成果を残せた。部活動では仲間と支え合い努力する大切さを実感できた。(1年)」「学習では日々の授業や復習を大切に、苦手な教科にも粘り強く取り組み、自信がついた。クラブチームでの練習も頑張れた。(2年)」「梓流祭の合唱コンクールでは、クラスで団結して素晴らしい合唱を創り上げることができた。(3年)」と2学期の成果を発表しました。また3学期の始業式では、「学習に力を入れるとともに、残り3ヶ月となった今のクラスの仲間達との日々を大切にしたい(1年)」「修学旅行の準備が始まり、とても楽しみにしている。学習を頑張ることに加え、気持ちのいい挨拶ができるように心がけたい。(2年)」「受験に向けて不安もあるが、日々コツコツと積み重ねをしたい。昨日の自分よりも少しでも前に進むことが大切。1、2年生もこれから心がけてほしい。(3年)」と新学期への思いを発表しました。

各教室には「有言実行」「新たな目標」「旅立ちの春」という書き初めが飾られました。生徒それぞれに、4月からの日々で成長したことを実感し、その経験から学んだことを3学期に、さらには来年度に向けて生かしていこうという思いを新たに、令和8年の学校生活をスタートさせました。

【2学期終業式の様子】 ※3学期始業式は寒さが厳しかったため、放送で行いました。



新体制の生徒会が発足しました。

昨年11月に生徒会選挙、12月に旧役員から新役員への引き継ぎを経て、この1月から2年生が主体となる新しい体制での生徒会が始まりました。新体制の始まりにあたって、新生徒会長、副会長にこれからの抱負を聞きました。

◇生徒会長 酒井信之介さん◇

こんにちは。令和8年生徒会長になりました酒井信之介です。「全員の声を聞き、みんなで創り上げる生徒会」を掲げ、全校のみなさんと梓流祭をはじめとしたいろいろな企画で関わりながら活動していきます。公約としてお話したように、Azusa morning radioシーズン3の放送とレクを実施します。アンケート等でみなさんの意見を取り入れ、形にしていきます。梓川中学校をより楽しい場所にするため、みなさんとたくさん関わりながら、1年間全力で活動していきます。よろしくお願いします！

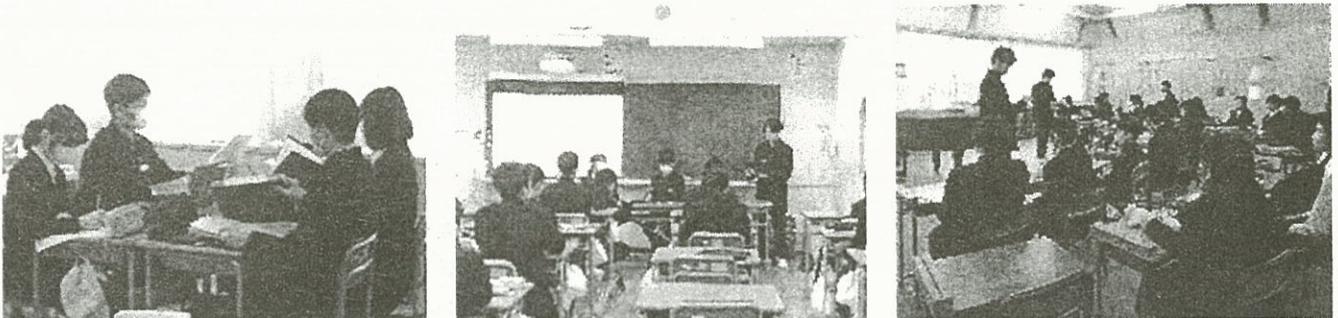
◇生徒会男子副会長 大谷成央さん◇

こんにちは。男子副会長になりました2年1組の大谷成央です。しっかりと生徒会長を支え、そして学校全体を盛り上げていきたいです。私が選挙で掲げたスローガン「All together～全校で創る最高の思い出」を達成するために力を入れたいことは、全校で交流し、学年の垣根を超えて全校で最高の思い出を作れるような企画を創ることです。全校が楽しめるような企画を考えて、私のスローガンが達成できるように最善を尽くします。よろしくお願いします。

◇生徒会女子副会長 水落理紗子さん◇

こんにちは。令和8年女子副会長になりました2年2組の水落理紗子です。私はレクや梓流祭などの企画を通して、全校生徒一人一人が楽しいと思えるような笑顔あふれる学校をつくっていきたいです。分からないこともたくさんありますが、役員のみなどと協力して、先輩方が創り上げてきた生徒会を引き継ぎ、この学校をもっといい場所にしていきます。精一杯頑張りますので、これからよろしくお願いします。

【生徒会役員の引き継ぎ、新役員による初めての委員会の様子】

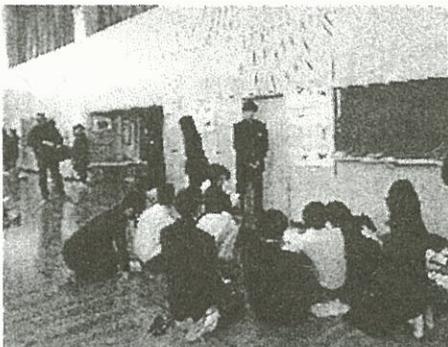


新役員に変わるとともに、2学年全員が所属する委員会を新たにし、新生徒会が動き始めました。現在は来年度の生徒会スローガンを考えているところです。新役員のもと本校の生徒会の伝統が引き継がれるとともに、さらに活動が充実していくことを期待しています。

本年度最後の学習参観日が行われました

2月12日(木)に本年度最後の学習参観日が行われました。この日は1日授業を公開し、多くの保護者の方にご参観いただきました。また3学年では、今年度の「総合的な学習の時間」の活動のまとめとして、地域でのイベントの企画、運営への参加や地域の方々との交流の成果をポスターセッションで発表しました。

今年度の総合的な学習では、地域の方、保護者の皆様に多くのご協力をいただき、生徒達が学びを深めるとともに、地域への愛着をより一層高めることができました。ありがとうございました。



まとめ

活動をして気づいたこと

- ・客観視して行動することが大切だということ。
- とても良い社会経験ができました。

梓川への思い

- ・このお祭りを続けてほしい
- ・地域の人との交流できる機会をふやしてほしい

改めて『梓川を住み続けられるまちにするには?』

→ 地域の人との交流を絶やさないことが大事